



2026年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月14日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	3,340	8.2	180	27.4	174	22.1	154	19.8
2025年2月期第1四半期	3,086	8.6	142	27.5	143	26.1	128	59.0

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 154百万円 (19.7%) 2025年2月期第1四半期 129百万円 (59.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	46.86	
2025年2月期第1四半期	39.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第1四半期	5,162	832	16.1	252.51
2025年2月期	4,824	678	14.1	205.64

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 832百万円 2025年2月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期		0.00		0.00	0.00
2026年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,385	7.4	146	126.3	173	62.6	146	86.3	44.43
通期	13,054	7.7	435	266.1	517	108.5	540	107.2	163.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	3,298,400 株	2025年2月期	3,298,400 株
期末自己株式数	2026年2月期1Q	282 株	2025年2月期	282 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	3,298,118 株	2025年2月期1Q	3,298,164 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃金の上昇や訪日外国人旅行者数の増加等の前向きな動きがみられましたが、国際情勢の不安定化や米国の政策動向等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、雇用・所得の改善に伴う消費者の外食需要の増加や、インバウンド需要の拡大により回復傾向にあります。人材不足や物価上昇等は続いており、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、高付加価値化、インバウンド需要の取り込み、和食事業の強化、カジュアルイタリアン事業の展開、そして人材不足・コスト高騰への対応といった課題に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、インバウンド需要の増加や単価の引き上げ等により売上高は好調に推移し、当第1四半期連結累計期間を通じて前年を上回りました。利益面におきましても、増収の効果に加え、前年同期に新規開店及び業態変更を行った店舗の利益貢献もあり、各段階損益も前年同期を上回りました。なお、商業施設のテナント変更に伴い閉店を予定している1店舗について、固定資産の減損損失を認識し、特別損失に計上しております。

これらの結果、売上高は3,340百万円（前年同期比8.2%増加）、営業利益は180百万円（前年同期比27.4%増加）、経常利益は174百万円（前年同期比22.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は154百万円（前年同期比19.8%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、引き続き、高付加価値化の方針のもとでブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。インバウンド需要が堅調であったこと、企業パーティー等の獲得が好調であったことにより、売上高は前年同期を上回って推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,363百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は162百万円（前年同期比9.7%増）となりました。店舗数は直営店10店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましても、客単価の引き上げが奏功したことに加え、前年に出店した店舗が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。デリバリーの営業につきましても、外部サービスの活用により件数が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の同グループの売上高は1,977百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は294百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

店舗の状況につきまして、2025年3月にFC店「SALVATORE CUOMO Cafe mozoワンダーシティ」、5月に直営店「SALVATORE CUOMO Cafe 福岡空港」をそれぞれ新規に出店いたしました。この結果、店舗数は直営店38店舗、FC店31店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業（ただし同事業は休眠中）により構成されております。当第1四半期連結累計期間の同事業の売上高は一百万円（前年同期は一百万円）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は2,929百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加いたしました。これは主として、売上高の増加による売掛金の増加159百万円等によるものです。固定資産合計は2,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。これは主として、新規出店・店舗業態変更等を行ったことによる有形固定資産の増加49百万円、敷金及び保証金の増加16百万円、関係会社長期貸付金のうち1年以内に回収予定の金額を流動資産に振り替えたことによる長期貸付金の減少20百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は1,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ237百万円増加いたしました。これは主として、仕入高の増加による買掛金の増加79百万円、借入の実施による短期借入金の増加41百万円、営業活動の活発化に伴う未払金の増加42百万円等によるものです。固定負債合計は2,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金のうち1年以内に回収予定の金額を流動負債に振り替えたことによる減少65百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は832百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益154百万円を計上したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は16.1%（前連結会計年度末は14.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月14日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,533,299	1,687,731
売掛金	625,605	785,490
原材料及び貯蔵品	193,050	190,614
その他	269,986	268,301
貸倒引当金	△2,347	△2,947
流動資産合計	2,619,594	2,929,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	755,081	768,061
その他(純額)	219,232	255,580
有形固定資産合計	974,313	1,023,641
無形固定資産		
その他	8,706	19,386
無形固定資産合計	8,706	19,386
投資その他の資産		
投資有価証券	208,355	189,189
長期貸付金	218,101	198,101
敷金及び保証金	589,639	605,949
その他	205,834	197,106
投資その他の資産合計	1,221,931	1,190,346
固定資産合計	2,204,951	2,233,374
資産合計	4,824,545	5,162,565
負債の部		
流動負債		
買掛金	480,280	559,785
短期借入金	-	41,667
1年内返済予定の長期借入金	222,932	232,268
未払金	657,175	699,554
未払法人税等	4,466	1,141
契約負債	70,571	72,800
株主優待引当金	64,445	42,906
その他	238,663	325,659
流動負債合計	1,738,535	1,975,782
固定負債		
長期借入金	1,466,282	1,401,213
資産除去債務	880,731	871,824
その他	60,760	80,948
固定負債合計	2,407,774	2,353,986
負債合計	4,146,309	4,329,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	252,698	407,246
自己株式	△688	△688
株主資本合計	677,841	832,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	394	407
その他の包括利益累計額合計	394	407
純資産合計	678,235	832,797
負債純資産合計	4,824,545	5,162,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	3,086,659	3,340,164
売上原価	2,392,181	2,539,354
売上総利益	694,477	800,810
販売費及び一般管理費	552,462	619,865
営業利益	142,015	180,945
営業外収益		
受取利息	1,404	1,102
協賛金収入	7,170	12,878
その他	9,332	8,324
営業外収益合計	17,906	22,305
営業外費用		
支払利息	4,650	7,856
持分法による投資損失	11,345	19,186
その他	858	1,570
営業外費用合計	16,854	28,613
経常利益	143,067	174,637
特別損失		
減損損失	-	8,610
特別損失合計	-	8,610
税金等調整前四半期純利益	143,067	166,026
法人税、住民税及び事業税	1,081	1,141
法人税等調整額	12,986	10,337
法人税等合計	14,067	11,478
四半期純利益	128,999	154,548
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,999	154,548

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	128,999	154,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	12
その他の包括利益合計	104	12
四半期包括利益	129,104	154,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,104	154,561
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	36,480千円	48,333千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,247,273	1,839,386	3,086,659	-	3,086,659	-	3,086,659
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,247,273	1,839,386	3,086,659	-	3,086,659	-	3,086,659
セグメント利益 又は損失(△)	148,043	226,046	374,089	△567	373,521	△231,506	142,015

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△231,506千円は、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,363,001	1,977,163	3,340,164	-	3,340,164	-	3,340,164
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,363,001	1,977,163	3,340,164	-	3,340,164	-	3,340,164
セグメント利益 又は損失(△)	162,435	294,478	456,913	△576	456,337	△275,392	180,945

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△275,392千円は、セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて8,610千円の減損損失を計上しております。